

イベント開催の報告

NSF2003 spring 開催の御報告

今年から、JNSA では、NSF (Network Security Forum) を年2回開催し、春は前年の活動報告として活動内容をご紹介します、秋はシンポジウムとして更に広い視点で議論もできる場にしていこうと考えています。本年度は6月3～4日の2日間「RSA Conference 2003」と併催で行いました。

- 会期：2003年6月3日(火)～4日(水)
- 会場：東京国際フォーラム
地下2階 セミナー室
- 主催：JNSA
- 同時開催：RSA Conference 2003 Japan
- 協力：キースリーメディア・イベント株式会社



プログラムは、2日間で10のWGの活動報告が行われるという、濃い内容となりました。プログラムは下記のURLをご覧になっていただければと思いますが、発表されたWGとタイトルだけを挙げてみます。

<http://www.jnsa.org/nsf2003spring/>

- 不正プログラム調査WG活動報告
「メモリ感染型ネットワーク・ワームの脅威とその対策」
- コンテンツセキュリティWG活動報告
「コンテンツビジネスへの脅威とその可能性」
- セキュリティ被害調査WG活動報告
「2002年度被害調査結果と国内被害額の推計」
- セキュリティ監査WG活動報告
「情報セキュリティ監査制度を利用した、情報セキュリティ管理策定」
- スキルマップ作成WG活動報告
「知の尺度「Skillmap」の考え方～セキュリティ技術者育成に向けて」
- セキュリティポリシーWG活動報告

「ポリシーサンプルの解釈と応用」

●相互接続WG活動報告

「802.1Xを使った無線LANのセキュリティと相互接続実験」

●インターネットVPN-WG活動報告

「公衆無線LANをビジネスで使用する際の課題」

●Challenge PKI 2002 活動報告

「PKIアプリケーションの相互運用を促進するChallenge PKI 2002」

●Challenge PKI 2002 活動報告

「IETFでのPKI関連技術動向」

現在JNSAで活動しているWGは約20に上りますので、今回ご紹介できたのはまだ半分程度でしかないことになります。JNSAの活力の基はWGそのものだといってよいでしょう。

◆◆◆
WGを支えるモチベーション

JNSAのWGを支える力は、どこからくるのでしょうか？ひとつの仮定や現状は、次のようなものです。

- WGは原則的にはボランティアベースで活動している。
 - WG活動は、メンバーの自主性を尊重し、事務局などは側面支援を行っている。
 - WG参加メンバーが問題意識を持っているテーマを選択し議論している。
 - 成果物はJNSAから原則公開とする。(著作権は執筆者個人に帰属する。)
 - 外部から受託する予算もWG活動と連動している。
- このように、問題意識が共有されているテーマについて、必要性を感じて参加していることが、最大の効果を挙げているように思えます。

実はこのような形態で活動できている団体は、案外少ないと思います。今後の課題は、このようなモチベーションやパワーを維持し、更に高めて有用なコンテンツを公開し続けていくことでしょう。

発表資料は下記のURLで公開しています。

<http://www.jnsa.org/nsf2003spring/program.html>